

浦幌短歌会

過疎の町合併ならず希みもならず
冬眠せずば新芽は出ぬか
一日中きかいの音の騒然と
わが部屋大きい窓はめらるる
雨に貸した黒き夏帽子 ことごと
つまらぬ母のものなど持つな
わが齢まさりて修む法要よ
みとりの頃の初秋を思ふ
物かなし二度と咲く花と虫のこえ
今日黄昏れて病みし兄の身
葉を落とし莢のみ付けてたちつくす
大豆刈られる朝露の中
結ばれずさよならしたけどこの部屋の
どこかにあなたを残しておくよ
夏のようなひとときの陽と朝夕の
秋風うけて草木はたつ
旅に出たき草の実ならんさ庭辺を
めぐれば裾にまといつくなり

米司 好美
山崎 阿己
山口 恵子
福澤 米子
星 愛子
長谷川アキ
藤井 桃子
後藤 年子
亀田みや子

ことぶき俳句会

紅葉を遠く近くに元鉱山
葎紅葉父母の地蔵にからみおり
夕暮れの白い綿虫見え隠れ
南瓜煮る火加減見つ俳句かな
読みて書き行楽にもゆき秋日和
晩秋や今日が終りの水族館
秋晴れや杖をどこかに忘れきて
十一月小さき蜘蛛がしたい寄る

大山さよ子
越坂 順子
徳地はつ子
橋本 葉子
福澤 米子
福原 仁子
宮部あき子
高橋 悦子

上浦幌句の会

課題吟「秋」
秋晴に似合うコスモス真つ盛り
小さな秋ハウスでなげくミニトマト
稔る秋畑の幸積み友帰る
虫の声途絶えて霜も間近かな
夕日あび三國峠の美しさ
おさげ髪姉と戯るすすき原
茄子秋刀魚夏の衰え生き返る
秋小雨度重なりて息白し
原油高暮らし直撃神無月
秋盛り実りさがしに里山へ

福田すま子
芳川 乙美
広瀬マサヨ
朝日ヒロエ
笹島カヨ子
経堂 ハナ
河村みよ子
山田 ナツ
大西 功
山田エツ子

浦幌川柳会

課題吟「針」
圧勝の驕りへお灸の針足りず
針千本飲んだつもりで嘘を聞く
針を止めお茶をすすって溜め息も
縫うよりも時間のかかる糸通し
針仕事母の姿を思い出す
逆境に大きなボケット縫い合わす
繕いも針錆びさせて補修布
哀楽を繕う針と糸も古い

竹村 鮮明
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子
佐藤 長崇
阿部 麗紅
山村 幹雄
白木二十重

みんなの文芸

編集後記

表紙の写真は、浦幌中学校の職業体験実習、次々に掘り起こされるジャガイモと土などの選り分け作業です。生徒の希望に沿って事業所が決まります。女の子二人だったので何で農家なの？と聞くと「農業を体験してみたかった。めっちゃめっちゃ楽しい」と笑顔。「このアングルがいいから」と勧められ、ジャガイモの中に入った私は泥だらけ（苦笑）。留真温泉が休業することは残念ですが、現状のままでは限界？？？といった思いもあります。ただ、施設が新しくなれば解決するわけでもありません。皆さん、企業、各種団体、行政と一体になり「地域おこし町おこし」の一環として取り組み、そこにどんなドラマをつくるのか、つくっていくのが、が大事なのは、そういうものはなかなか見えてこない私は思っています。（やす）掲載された写真は、差し上げますので（本人または家族）、お気軽にご連絡下さい。